

## 慶應義塾大学薬学部 生物系新講座教授（講座主任）の公募

慶應義塾大学薬学部では、下記のように生物系新講座教授（講座主任）の公募選考を行います。

本学部は、6年制薬学科では「科学の基盤をもった、人に優しい薬剤師の育成」を目標としています。また、4年制薬科学科では「創薬、臨床開発、環境・生命科学などの幅広い分野における卓越した研究者・技術者・教育者の育成」を目標としています。

### 1. 公募人員

今回の公募は、教授1名です。

### 2. 新講座の概要

- 1) 公募対象の教授の着任と同時期またはそれ以降に、もう1名の講座教員を新たに採用することができます。
- 2) 当該講座には、これに加えて、現在薬学部 に在籍する助教が配属される予定です。

### 3. 公募要件

- 1) 生物系薬学または生体機能に関連する領域で優れた研究実績があり、今後も日本の薬学をリードする研究を展開される方。
- 2) 薬学科・薬科学科の両学科の学部学生および大学院薬学研究科の大学院生の教育研究に熱意を持ってあたっていただける方。
- 3) 本学部の運営にご協力頂ける方。

### 4. 採用予定日

2016年5月1日以降のできるだけ早い時期（応相談）

### 5. 応募資格：

博士の学位を有すること

### 6. 担当分野

- 1) 教育：学部では、生物系薬学（薬学教育モデル・コアカリキュラム平成25年度改訂版の下記の領域とそれらのアドバンスト分野）およびその関連分野の講義、演習、学生実習、卒業研究の指導。

・「C7 人体の成り立ちと生体機能の調節」

・「C6 生命現象の基礎」の一部

大学院では、専門分野の講義、演習、研究指導。

なお、学部教育は、必要に応じて他の教員と分担して担当して頂きます。

- 2) 研究：生物系薬学または生体機能に関連する領域で、薬学を通じて社会に貢献し、かつ国際的に高く評価される先導的研究。

### 7. 提出書類等

下記の書類をA4版両面（レター版も可）にて作成し、原本1部、コピー5部をご提出ください。

- 1) 履歴書（書式自由。写真貼付）
- 2) 研究・業績目録（学術論文については、掲載誌の最新の impact factor を記載）

- 3) これまでの研究の概要 (2,000 字程度)
- 4) 着任後の教育および研究に対する抱負 (2,000 字程度)
- 5) 外部資金獲得状況 (研究費の種類、代表と分担の別、研究課題、受領期間、金額等を記載)
- 6) 照会者 (応募者について意見を求めることのできる方) 2名の氏名、連絡先
- 7) 主要原著論文 5 編の別刷 (コピー可)

#### 8. 公募締切

2016年2月10日(水)(必着)

#### 9. 応募方法

応募書類を「教員応募書類在中」と朱書した封筒に入れ、簡易書留にて下記に送付して下さい。

#### 10. 応募書類送付先および問い合わせ先

- 応募書類送付先

〒105-8512 東京都港区芝公園 1-5-30

慶應義塾大学薬学部総務課 生物系新講座公募係

- 問い合わせ先

慶應義塾大学薬学部 生物系新講座 主任教授推薦委員会

委員長 三澤 日出巳 (薬理学講座 教授)

Tel. 03-5400-2674

e-mail: misawa-hd@pha.keio.ac.jp

#### 11. その他

- 1) プレゼンテーションや面接のために来学いただくことがあります。なおその際の交通費等は支弁いたしません。
- 2) 慶應義塾大学薬学部は現在任期制 (5年契約・再任可) を採用しています。
- 3) 応募書類は返却いたしませんので、ご了承ください。
- 4) 応募のために提出して頂いた書類は、選考のために限って使用します。選考終了後は、選考を通過した方の情報を除き、責任を持って廃棄します。
- 5) 慶應義塾大学薬学部については、<http://www.pha.keio.ac.jp/> をご参照ください。

## 研究・業績目録(例)

原著(学術論文については、掲載誌の最新の impact factor を記載)

番号・著者、  
題目  
誌名、巻、初ページ - 終ページ、年

総説

番号・著者、  
題目  
誌名、巻、初ページ - 終ページ、年

著書

番号・著者、  
題目  
誌名、巻、初ページ - 終ページ、年

その他(学会等における招待講演、特許等)

番号・講演者、申請者等  
題目  
学会名、特許番号、年等

### 〔業績目録作成上の注意事項〕

1. 原著、総説、著書、その他に分けて、発表(発行)の新しい年月日順に記載し、その他の項目の最後には学位論文の論文題目を記載する。
2. 共著の場合は全員の氏名を記載し、応募者の氏名にアンダーラインを付ける。
3. 欧文論文は欧文で、和文論文は和文で記載する。
4. 印刷中のものは受理を証明する書類等のコピーがあればそれを付して記載する。(投稿中のものは記載しない)
5. 主要論文別刷として提出した5編には、 を付ける。
6. ワープロ等で作成・記入し、最下段中央にページ番号を付す。
7. 論文リストの形式については、必要事項が記入されていれば必ずしもこの書式と完全に一致しなくても構いません。